

(2)

総務部の目標

市民の信頼に応える 行政を推進します

激甚化する自然災害など困難な課題に果敢に立ち向かう気概を持ち、多様なニーズに柔軟に対応できる人材の育成を図ります。また、市税などの自主財源の確保に努め、効率的で効果的な行財政運営に取り組んでまいります。

さらに、DXの推進により市民サービスの向上を図るとともに、情報の積極的な開示と厳正な管理により、開かれた信頼できる市政を実現してまいります。

【実現に向けて】

総務課

- 研修等により職員の能力向上を図り、最適な人員配置を行うことで、質の高いサービスを提供します。
- 個人情報を適切に管理し、市政に関する情報を早く正確に開示することにより、市民は市政を信頼し、安心して暮らすことができます。

財政課

- 日常生活において豊かさを実感できる財政基盤の強いまちを目指します。
- 公平公正な入札・契約に取り組むとともに、市民が安心して生活できる社会基盤づくりを目指します。(工事契約検査室)

行政経営課

- デジタルで拓く、質の高い市民サービスの実現と持続可能な行政経営を目指します。

税務課

- 納税者の自主納付により安定した行政サービスを持続的に提供できる財源を確保します。

総務課

めざすまちの姿①

研修等により職員の能力向上を図り、最適な人員配置を行うことで、質の高いサービスを提供します。

◆ めざすまちの姿を設定した背景と想い

人口減少による地域活力の低下や頻発する自然災害などへの対応に加え、人々の価値観が多様化する中で、きめ細やかな行政サービスの提供が求められています。

限られた財源で、様々なニーズに応えていくためには、効率的・効果的な行政運営が不可欠であります。

◆ めざすまちの姿を達成するための課題

- 目まぐるしく変化する社会環境に対応するため、職員の政策形成能力等の向上と、機能的で創造性のある組織の構築を図る必要があります。
- 職員の能力や実績、適性等に応じた人事管理を行い、心身ともに健康で安心して働くことができる環境整備を図る必要があります。

◆ 課題を解決するための取組み

最適な人員配置の推進

- 複雑化・高度化する行政ニーズに対応し、将来にわたって安定した行政サービスを提供し続けるため、新たに定員管理計画を策定し、人員配置の最適化を推進します。
- 必要な職種や職員数を確保するため、新たな定員管理計画を策定します。

適正な人材の管理と人材の育成

- 階層別の研修や専門的な知識を高める研修に加え、政策形成や条例立案など大局的な考えを養う研修科目を職員に受講させることで、一人ひとりの能力を向上させ、社会経済情勢の変化に柔軟に対応できる人材を育成します。
- 人事評価や意向調査により、職員の能力や適性、希望を把握し、能力を十分に発揮できる部所に配置します。
- 各種検診やメンタルヘルス講習会等を実施し、職員の心身の健康維持に努めます。

めざすまちの姿②

個人情報適切に管理し、市政に関する情報を早く正確に開示することにより、市民は市政を信頼し、安心して暮らすことができます。

◆ めざすまちの姿を設定した背景と想い

市が保有している個人情報が不適切に扱われた場合は、市政に対する信頼が失われます。

このため、管理体制を強化し、個人情報の保護を徹底していく必要があります。

また、市政の情報について、求めに応じ正確かつ迅速に公開することで、市政に対する理解と信頼が深まります。

◆ めざすまちの姿を達成するための課題

- 職員が法令等を十分理解し、個人情報を適正に管理する必要があります。
- 情報公開請求には、正確で迅速な対応が求められています。

◆ 課題を解決するための取組み

個人情報の保護

- 「個人情報の保護に関する法律」に基づき、保有する個人情報の厳格な管理を徹底することで、個人の権利利益を保護し、市民に対する信頼を構築します。

的確な情報公開

- 厳正な公文書管理と開示請求への公正かつ迅速な対応を徹底することで、行政運営の透明性を確保し、市民の市政参加を促進します。

関連する計画

- 定員管理計画
- 人材育成基本方針

財政課

めざすまちの姿

日常生活において豊かさを実感できる
財政基盤の強いまちを目指します。

◆ めざすまちの姿を設定した背景と想い

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、社会構造や生活スタイルに変化が見られていますが、これを地域再生のチャンスと捉え、歴史・文化のまちの魅力を積極的に発信するとともに、市民一人ひとりが誇りと愛着を持てるまちの実現を目指します。

また、未来へ希望を持ち次世代が安心して暮らせる魅力的なまちとして発展し続けるため、それを支える財政基盤の強いまちを目指します。

◆ めざすまちの姿を達成するための課題

- 財政構造の弾力性を示す経常収支比率は、高齢化に伴う扶助費や老朽化が進む公共施設の維持補修費、災害対応等による公債費の負担増により高い水準にあるため、政策的な事業に充てる財源を確保することが重要です。
- 臨時財政対策債の借入や合併特例債事業の実施などにより増加した、合併時点を上回る地方債残高を減少させる必要があります。
- 公共施設は、少子高齢化や社会経済情勢の変化などにより長期的な視点をもって計画的に更新、統廃合、長寿命化等を行っていく必要があります。

◆ 課題を解決するための取組み

事業の見直し

- 限られた財源で、多種多様化する行財政需要や新たな行政課題に的確に対応していくため、予算編成や事業評価で既存事業の徹底した見直しを進めます。

繰上償還の実施

- 公債費の平準化と利子負担軽減のため、減債基金などを活用し、計画的に繰上償還を実施します。

基金への積立

- 将来の緊急的な支出などにも対応するため、毎年度、地方財政法第7条の規定に基づき、繰越金の一定額を基金に積み立てます。

公共施設適正管理の推進

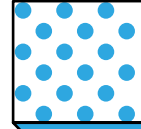
- 供給（最適な施設量）・品質（安全・安心・快適性の確保）・財務（長期にわたる経済的なコスト）の3つの視点から、施設の最適化に取り組み良質なサービス供給に努めます。



市役所本庁舎

関連する計画

- 白河市の財務書類
- 公共施設等総合管理計画
- 公共施設個別施設計画



工事契約検査室

めざすまちの姿

公平公正な入札・契約に取り組むとともに、
市民が安心して生活できる社会基盤づくりを
目指します。

◆ めざすまちの姿を設定した背景と想い

建設業界では労働者の高齢化が進行し、慢性的な人手不足となっており、さらに、今後多くの労働者の引退が見込まれ、若い労働者の確保が急務となっています。

そのため、市では、引き続き、公平公正な入札契約に取り組むとともに、建設業界の「働き方改革」や、公共工事の適切な発注による施工時期の平準化を推進します。また、これにより、建設業者の経営や労働者の生活の安定、地域の担い手である建設業者の持続的な発展を目指します。

◆ めざすまちの姿を達成するための課題

- 年度管理された予算のため、年度初めの工事量が少なく、年度半ばから後半にかけての工事量が多くなっています。この施工時期の偏りを是正するため、国が示す「さしすせそ」の取組みを推進する必要があります。

◆ 課題を解決するための取組み

平準化に向けた取組み「さしすせそ」の推進

- ④債務負担行為の活用、⑤柔軟な工期の設定（余裕期間制度の活用）、②速やかな繰越手続、⑥積算の前倒し、⑦早期執行のための目標設定（執行率等の設定、発注見通しの公表）に積極的に取り組むとともに、早期発注に努め、施工時期の平準化につながる体制を整えていきます。



完了検査





行政経営課

めざすまちの姿

デジタルで拓く、質の高い市民サービスの実現と 持続可能な行政経営を目指します。

◆ めざすまちの姿を設定した背景と想い

多様化する市民ニーズに適切に対応できる効率的で効果的な行政運営が求められています。
このため、業務の見直しを進めるとともに、デジタル技術やデータを活用し迅速で効率的な事務処理を可能とするなど、便利で豊かな社会の実現を目指します。

◆ めざすまちの姿を達成するための課題

- 多様化する市民ニーズに対し、限られた資源で迅速かつ質の高い行政サービスを提供し続ける必要があります。
- インターネットや SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）が利用できないなどのデジタルデバインド^{※1}が生じており、その解消が必要です。
- 快適で持続性のある行政経営を実現するため、デジタル技術を用いた DX（デジタルトランスフォーメーション）^{※2}の推進が必要です。
- 各種計画の進捗状況を的確に把握するとともに、データ活用による行政の効率化・高度化を図るため、正確な統計調査が必要です。

◆ 課題を解決するための取り組み

デジタルによる業務改革

- 職員が政策立案や相談などの業務に集中できるよう生成 AI 等のデジタル技術を活用し、単純な入力作業などの自動処理化を進めます。
- ワークライフバランスを実現するとともに、多様な人材の働きやすい職場環境をつくるためテレワークを推進します。
- 電子決裁システムなどの導入により、更なる業務時間の削減とペーパーレスを進めます。

デジタルでつながる市役所の推進

- 市役所に行かなくても、いつでも・どこでも・簡単に行政手続きができるオンライン申請を充実させるとともに、タブレット等の画面を通して、遠方でも子育てや移住、介護などの相談ができる環境を整備します。

- 書かない・待たない窓口環境を整備し、来庁する市民の負担を軽減します。

デジタル基盤・人づくり

- オンライン予約システムを導入することにより利便性の向上を図り、公共施設の利活用を促進します。
- スマホ教室を開催することにより、高齢者などのデジタルデバインドを解消します。
- 研修や講習会等を開催し、職員のデジタルスキルの向上に努めます。
- 地域経済の活性化・課題解決を図るため官民協働によるデータ連携を進めるとともに、情報共有を踏まえセキュリティ対策を講じます。
- デジタル化を推進するため公共施設等のネットワーク環境を整備します。

統計調査の円滑な実施

- 客観的なデータに基づき市の現状や課題を把握するため、各種統計調査を円滑に実施するとともにその結果を分析し施策に活用します。
- 市が保有するデータや各種統計調査の結果について、市民や事業者が容易に利活用できるようインターネット等を通して公開します。

最適な組織体制の構築

- 社会経済情勢の変化に柔軟に対応するため、適宜適切な人員配置と組織体制の見直しを行う。



DX 研修

関連する計画

- 白河市DX推進方針
- 白河市行政経営改革プラン
- 白河市情報セキュリティポリシー

用語解説

※1 デジタルデバインド（情報格差）：コンピュータやインターネットなどの情報技術を利用したり使いこなしたりできる人と、そうでない人の間に生じる、貧富や機会、社会的地位などの格差のこと。

※2 DX（デジタルトランスフォーメーション）：進化した IT 技術を浸透させることで、人々の生活をより良いものへと変革させるという概念のこと。

税務課

めざすまちの姿

納税者の自主納付により安定した
行政サービスを持続的に提供できる財源を確保します。

◆ めざすまちの姿を設定した背景と想い

税金は行政サービスを維持・向上するため、社会全体で公平に負担するものです。税金を納めてもらえない場合、行政サービスが滞り、市民・納税者にとって暮らしにくいまちになってしまいます。

このため、公平かつ適正な課税を実施するとともに、未納者に適切な指導・処分を行い税負担の公平性を確保します。また、税情報の周知や租税教育を通して、税金を納期限内に自主的に納付してもらえるまちにしていきます。

◆ めざすまちの姿を達成するための課題

- 社会のキャッシュレス化の動きに合わせ、納税のキャッシュレス化など納付方法の選択肢を増やし、利便性を向上していく必要があります。
- 納税者に分かりやすい案内・周知を行い、利便性の良いデジタル化を推進することが重要です。
- 自主納付を促すきめ細やかな対応に努めるとともに、適切に滞納処分を行う必要があります。また、関係団体と協力して学校での租税教室を積極的に行うことで、納税意識の醸成を図る必要があります。
- 税制改正の内容について、効果的な案内・周知を図り、市民・納税者の理解を深める必要があります。

◆ 課題を解決するための取り組み

キャッシュレス納税をはじめとする利便性向上

- 共通納税システム（eLTAX）※による納税手段の拡大、納付確認システムを利用した車検時納税証明の省略により納税者の利便性向上を図っていきます。
- 利便性向上のため、さらに効果的な方法等について、調査・研究を行っていきます。

税務行政デジタル化への対応

- 関係機関と連携しながら案内・周知を進めることで、非接触・非対面による電子手続の活用を進めていきます。

未納者対策の実施

- コールセンターより未納者へ納税を促すほか、必要に応じて納付相談を行います。それでも納付がなされない場合は法令に基づき適切な滞納処分を進めます。

税金に関する情報の周知・啓発

- 納税者の知りたい税情報の案内・周知に加え、税務署と連携した「租税教室」の開催により、次代を担う子どもたちへ税金の意義や役割を理解してもらえるように努めていきます。

※課題を解決するためのすべての取組みに対し、さらに効果的・効率的な方法について調査研究を行っていきます。



租税教室

用語解説

※ 共通納税システム（eLTAX）：地方税における手続きを、インターネットを利用して電子的に行うシステムのこと。